

大単元	I わたしたちの前橋市	(24時間)
目標	学校の周りの場所による違いや公共施設の場所と働き，前橋市の地理的環境を理解し，自分たちの住む前橋市に対する関心を高める。	

単元	I-1 学校のまわり たんけんたい	4・5月(11時間)
----	-------------------	------------

目標	学校の周りの様子は場所によって違いがあることを考え，学校の周りの様子の特色を理解する。	
----	---	--

評価規準	(①知・技) 学校の周りの土地利用や公共施設，道路などの分布を基に，身近な地域の様子を大まかに理解している。 学校の周りの観察・調査をし，地図にまとめている。 (②思・判・表) 学校の周りの様子について，学習問題を見いだしたり，場所による違いを考えたりして，説明している。 (③主体的態度) 学校の周りの様子について関心をもち，予想や学習計画を考え，意欲的に追究しようとしている。	
------	---	--

過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>
つかむ	1	○学校の周りの様子の建物の種類を話し合い，実際に地図に描いて，学習問題をつかむ。 学習問題例 わたしたちの学校のまわりは，どのような様子になっているのだろう	○学校の周りの様子について疑問点や調べたいことを考えられるように，描いた白地図を基に，学校の周りの様子について知っていることやよく分からないこと話し合う活動を設定する。	◇学校の周りの様子に関する疑問点や調べたいことを記述している。 <学習シート②>
	1	○これまでの学習や生活を想起し，学校の周りの様子について，東西南北の方位ごとに予想し，調べる計画を立てる。 <調べる観点>           ・建物の様子(大きさ，広さ) ・公共施設の名前と働き ・土地の使われ方(土地利用)	○追究の見通しがもてるように，四方位ごとに予想を記述できる学習シートを用意する。	◇これまでの経験や資料を基に，東西南北の方位ごとに学校の周りの様子について予想したことを記述している。 <学習シート③>
追究する	3	○学校の周りの様子を調べ，白地図に絵や言葉でまとめる。(現場学習)	○観点に沿って学校の周りの土地利用の様子や公共施設を記述できるように，学校の周りの区画が示されている白地図を用意する。	◇学校の周りの土地利用の様子や公共施設の名称を白地図に記述している。 <学習シート①>
	1	○学校の周りの様子について調べて分かったことを発表し合い，絵地図にまとめる。	○調べたことを共有できるように，東西南北の場所ごとに建物の様子や土地の使われ方(家，店，公共施設，駐車場，畑，公園)について色分けした付箋紙を用いて整理する一枚の大型白地図を用意する。	◇学校の周りの土地利用の様子や公共施設の名称を絵地図に表している。 <学習シート①>
	2	○学校の周りの様子について，地図記号と色分けの凡例を使って地図にまとめる。	○地図記号を用いて学校の周りの様子をまとめられるように，地図帳から地図の作成に必要な地図記号を選択する活動を設定する。	◇適切な地図記号を使い，凡例にしたがって学校周辺の地図を作成している。 <学習シート①>
まとめる・生かす	1	○大型白地図を基に，学校の東西南北ごとの場所による違いについて話し合う。	○学校の周りの土地利用や建物は場所によって違いがあることを理解できるように，四方位ごとの特色(色の傾向や集中・分散)を比較したことを説明し合う場を設定する。	◇学校の周りの様子は，店が多い場所や家が多い場所，公共施設が多い場所など，場所によって違いがあることを記述している。 <学習シート②>
	1	○赤城県道沿いとみずき通り沿いの様子が違う理由について話し合う。	○2つの通り沿いの様子を比較できるように，建物の様子や交通の様子を記入する二次元表を用意する。	◇2つの通り沿いの様子が異なる理由を，交通や建物の様子を基に記述している。 <学習シート②>

	1	○単元のまとめテストをし、学習内容を振り返る。	
--	---	-------------------------	--


【備考】

- ・現場学習については起案参照のこと。
- ・学校の周囲の約300mの東西南北の範囲を調べるとよい。(北は若干狭くし、セブンイレブンの通り沿いまでとするとよい。)
- ・「学校のまわりたんけん」で使用する白地図は、大きな建物の名前や四方位、道順を示したものがよい。
- ・「学校のまわりたんけん」では、グループで1枚の白地図に調べたことを記入するとよい。
- ・「学校のまわりたんけん」では、時間に余裕があれば、地図記号学習との関連から学校南側の「農場(畑)」や「寄居稻荷神社」も見学できるとよい。
- ・地図記号は文 ⊕ ⊗ ⊞ ⊣ ∨ √ ∟ ∠ ☆ □ 等を扱う。
- ・単元テストは0.5時間で実施し、残りの0.5時間を単元の学びの振り返りに充てる。

単元	I-2 わたしたちの前橋市		5・6・7月(13時間)
目標	前橋市の様子について地形や土地利用、建物の様子、交通の様子に着目して観察、調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図にまとめ、場所ごとの様子を比較したり、自然的条件や社会的条件と関連付けたりして考え、市の地理的環境について大まかに理解する。		
評価規準	<p>(①知・技)群馬県における前橋市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がりなどを基に、市の地理的環境について大まかに理解している。 観察、調査したり、地図や写真などの資料で市の位置や地形、土地利用、交通の広がりなどを調べたりして、白地図にまとめている。</p> <p>(②思・判・表)前橋市の様子について、学習問題を見いだしたり、場所ごとの様子を比較したり、土地利用の様子と地形や交通の様子などを関連付けて、場所による様子の違いを考え、白地図などにまとめたことを基に説明している。</p> <p>(③主体的態度)前橋市の様子について関心をもち、予想や学習計画を考え、調査しようとしている。</p>		
過程	時間	学習活動	指導上の留意点
つかむ	1	○前橋市内の様子に関する疑問や調べたいことを基に学習問題をつかむ。 学習問題例 前橋市の様子はどのようになっているのだろう	○屋上から直接観察できない市内の様子に疑問や調べたいことをもてるように、学校周辺の地図と前橋市の地図を用意する。
	1	○学習問題について予想し、調べる計画を立てる。 ＜調べる観点＞北部、南部、西部、東部の ・地形 ・土地利用の様子 ・建物の様子 ・交通の様子	○予想や調べる方法を考えられるように、前橋市を東西南北に大まかに区切った地図と市内の諸地域の写真を用意する。
追究する	1	○市内の地形や交通の様子を調べ、白地図に整理する。	○市内の地形と交通の様子を大まかに捉えられるように、河川と交通機関を記入したりする地形図を用意する。
	4	○諸地域の様子を観点に沿って調査する。 (現場学習)	○観察と地図の情報を対応させて諸地域の様子を調査できるように、諸地域ごとの地図を貼付した学習プリントを用意する。
	1	○前橋市北部の土地利用の様子について調べたことを整理しながら話し合う。	○北部の土地利用の様子と地形を関連付けられるように、「学校周辺との違い」の視点を提示する。
	1	○前橋市南部の土地利用の様子について調べたことを整理しながら話し合う。	○南部と北部の地形と交通の様子を比較し、相違点を見いだせるように、地形と交通の様子について調べた事実を整理することを支援する二次元表を用意する。
	1	○前橋市西部と東部の土地利用の様子について調べたことを整理しながら話し合う。	○西部と東部の土地利用や建物の様子と地形や交通の様子とを関連付けられるように、公共施設と畑を貼付できる地図を用意する。
まとめ生るか・す	1	○学習問題の答えを出す。	○地域ごとの地理的環境を総合できるように、地形や土地利用、建物、交通の様子をまとめた白地図と現場学習の写真を提示する。
	1	○前橋市の案内図を作る。	○前橋市の様子について知らせたいことを記入できるように、地図記号や絵、コメントを書き込める地図を用意する。
			<p>◇前橋市内の諸地域の様子について、疑問や調べたいことを記述している。 ＜学習シート②＞</p> <p>◇自らの予想や調べる方法を記述している。 ＜学習シート③＞</p> <p>◇市域の主な河川と交通機関を正しく記述している。 ＜地形図①＞</p> <p>◇諸地域の地形や土地の高さ、土地利用、建物、交通の様子を記録している。 ＜学習プリント①＞</p> <p>◇畜舎が多い北部は、傾斜や広い土地などの自然を生かした産業が盛んな場所であることを記述している。 ＜学習シート①＞</p> <p>◇工場が集まる南部は、他地域との交通の利便性によって、人や物が行き来しやすい場所であることを記述している。 ＜学習シート①＞</p> <p>◇高い建物が多い西部は、公共施設が集まる市の中心であること、畑が多い東部は広い土地を生かした場所であることを記述している。 ＜学習シート①＞</p> <p>◇前橋市には、地形や交通の様子の違いによって、様々な様子の異なる場所や大きさの異なる建物があることを記述している。 ＜学習シート①＞</p> <p>◇学習したことを基に、前橋市の様子について知らせたいことや自分なりの発見を記述している。</p>

I ○単元のまとめテストをし，学習内容を振り返る。

【備考】

- ・現場学習については，起案参照のこと。
- ・社会科準備室に前橋市の土地利用図と地形図がある。ただし，前橋市の土地利用図（色付き）については，「まとめる・生かす」過程に配付する。
- ・「追究する」過程では，色塗り等の作業的な活動や読図を行うようにする。
- ・土地利用・交通・地形の関連について扱いながら，諸地域ごとに様子が異なることを捉えられるようにする。
- ・土地利用・交通・地形の関連について考える際には，重ねた地図を提示するとよい。
- ・単元テストは0.5時間で実施し，残りの0.5時間を単元の学びの振り返りに充てる。
- ・単元の終了後に，自分の家の周りを調べたり，前橋内の様々な場所へ行ってみたいりするよう，家庭への協力を呼びかけるとよい。
- ・地図記号は  等を扱う。その際，市役所の働きについてふれるようにする。
- ・交通の様子について学習する際には，前橋市と隣接する市町村の名称や位置についてもふれる。

大単元	Ⅱ わたしたちの暮らしと農業や商店の仕事	(19時間)
目標	生産や販売の仕事と消費活動、他地域との関わりを理解し、地域の人々や自分たちの生活との関わりに関心をもつ。	

単元	Ⅱ-1 きゅうりづくりのう家をたんけんしよう	8・9月(10時間)		
目標	前橋市のきゅうりづくりについて、仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して見学や聞き取り調査をしたり、地図などの資料を活用したりして調べ、地域の人々の生活との関連を考え、表現することを通して、きゅうりづくりは地域の人々の生活と密接な関連をもって行われていることを理解する。			
評価規準	(①知・技) きゅうりづくりの仕事は、自分たちの地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解している。 きゅうりづくりの仕事の様子を見学・調査したり、地図資料を活用して調べたりして、それらを白地図や関係図にまとめている。 (②思・判・表) きゅうりづくりに関わる人々の仕事について、学習問題を見いだしたり、地域の人々の生活との関連について考えたりして、表現している。 (③主体的態度) きゅうりづくりの仕事について予想や学習計画を考えたり、きゅうりづくりの仕事と自分たちの生活との関わりを考えたりしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>
つかむ	1	○生産や販売に関する仕事について知っていることを話し合い、生産や販売に関する学習について見通しをもつ。	○野菜や鉛筆の生産や販売に関わる仕事について知っていることを整理できるように、それぞれが自分の下に届くまでの様子を整理するチャート図を用意する。	◇生産や販売に関わる仕事について、知っていることを記述している。 <学習シート③>
	1	○前橋市のきゅうりづくりについて疑問点や調べたいことを考え、問題意識をもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">           学習問題例            わたしたちが、おいしくてたくさんのかきゅうりを食べられるのは、どのような工夫があるからだろう         </div>	○前橋市のきゅうりづくりの仕事について、疑問点や調べたいことが考えられるように、家庭菜園で作ったきゅうりと農家で作ったきゅうりの特徴を比較する表を用意する。	◇前橋市のきゅうりづくりの仕事に関する疑問点や調べたいことを記述している。 <学習シート②>
	1	○生活経験を基に、前橋市のきゅうりづくりの仕事について予想し、調べる計画を立てる。 <調べる観点> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きゅうりづくりの場所</li> <li>・きゅうりの作り方</li> <li>・きゅうりのはこび方</li> </ul>	○前橋市のきゅうりづくりの工夫について予想できるように、きゅうりの性質や栽培に適した条件に関する資料を用意する。	◇資料を基に前橋市のきゅうりづくりについて予想したことを記述している。 <学習シート③>
追究する	1	○市内できゅうりづくりが盛んに行われている場所の様子を調べる。	○きゅうりづくりが盛んに行われている場所の特色を周辺の地形や土地利用と関連付けて考えられるように、前橋市の地形図と土地利用図を用意する。	◇平坦な土地や川の近くなどの自然条件を活かした場所できゅうりづくりを行っていることを記述している。 <学習シート①>
	2	○きゅうりづくりや出荷の様子を調べる。(現場学習)	○きゅうりづくりや出荷の様子を具体的に記録できるように、場所ごとに工夫や具体的な作業の様子を記録できる学習プリントを用意する。	◇きゅうりづくりや出荷の様子を場所ごとに具体的に記述している。 <学習プリント①>
	1	○きゅうりの作り方の工夫について調べたことを整理する。	○きゅうりの作りの工程における作業の共通点を見いだせるように、作業を「環境」と「仕事」に分けて整理する学習プリントを用意する。	◇農家では、きゅうりの生育に適した環境を整え、毎日欠かさず作業をすることで、品質の良いきゅうりを作っていることを記述している。 <学習シート①>
	1	○きゅうりの運び方の工夫について調べたことを整理する。	○きゅうりの出荷時の工夫について共通点を見いだせるように、JAでの作業工程を人力で行う場合と比較して記入する学習プリントを用意する。	◇JAでは、鮮度を保つための設備や配送の仕組みを整え、各地にきゅうりを届けていることを記述している。 <学習シート①>

ま と め 生 か す	1	○きゅうりを宣伝するシールを考え、学習問題の結論を出す。	○きゅうりづくりの工夫を総合できるように、これまでの学習内容をまとめた掲示物を用意する。	◇農家の作り方の工夫やJAの運び方の工夫があるうえで、私たちは新鮮で品質の良いきゅうりを食べることができることを記述している。 <学習シート②>
	1	○単元のまとめテストを行い、学習内容を振り返る。		

【備考】

- ・現場学習では、事前に主旨や質問内容を伝える。その際、きゅうりづくりに携わる生産者の思いや願いを話していただけるように依頼しておくとうい。
- ・実習単元であるため夏休みに行く下見には、実習生を同行させるとよい。よって、下見は実習事前指導の後がよい。
- ・見学の申し込みは夏休み前までに行っておけるとよい。

単元	Ⅱ-2 スーパーマーケットをたんけんしよう		10・11月(9時間)
目標	販売の仕事について、家庭での買い物の実際や販売店での様子を調べ、販売に携わる人々の仕事の工夫と消費者の願いを関連付けて考えることを通して、販売の仕事は消費者の多様な願いを踏まえて売り上げを高めるよう工夫して行われていることを理解する。		
評価規準	<p>(①知・技) 販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえて売り上げを高めるよう工夫して行われていることを理解している。 観察、調査したり、地図や写真などの資料で販売の仕事の様子を調べたりしてまとめている。</p> <p>(②思・判・表) 販売の仕事について、学習問題を見いだしたり、販売の仕方を分類したり、販売の仕方と消費者の願いを関連付けたりして販売の工夫を考え、関係図にまとめたことを基に説明している。</p> <p>(③主体的態度) 販売の仕事について関心をもち、予想や学習計画を考え、調査しようとしている。</p>		
過程	時間	学習活動	指導上の留意点
つかむ	家庭	○自分の家の食料品の買い物調べをする。	○購入した食料品を店ごとに整理できるように、購入した物を表に記入する学習プリントを用意する。
	1	○買い物調べの結果からスーパーについて疑問点や調べたいことを考え、問題意識をもつ。 学習問題例 たくさんのお客さんに来てもらえるように、スーパーマーケットではどのような工夫をしているのだろう	○スーパーマーケットでの購入数や購入機会が多いことに気付けるように、買い物調べの結果を棒グラフで比較できる学習シートを用意する。
	1	○スーパーマーケットの販売の工夫について予想し、調べる計画を立てる。 <調べる観点> ・売り方の工夫 ・仕入れの工夫	○スーパーマーケットの販売の工夫を予想できるように、スーパーマーケットの販売の様子が分かる資料を提示する。
追究する	家庭	○家の人食料品の買い物をするときの願いについて調べる。	○消費者の願いについて調べられるように、アンケート用紙を用意する。
	1	○買う人の願いについてまとめる。	○買う人の願いを分類し、それぞれの共通点を見いだせるように、アンケート結果を整理する学習シートを用意する。
	2	○クラシードで販売の仕方を観察・調査する。 (現場学習)	○具体的な販売の仕方を調べられるように、場所ごとに販売の工夫を記述できる学習プリントを用意する。
	1	○品物の売り方の工夫について話し合う。	○売り方を分類して工夫を考えられるように、売り方が書かれた短冊を整理して板書する。
	1	○品物の仕入れの工夫について話し合う。	○多様な地域から商品を仕入れていることを捉えられるように、仕入れ先を記入する地図を用意する。
まとめ か る す	1	○学習問題の答えを出す。	○スーパーが行う様々な工夫と消費者の願いを関連付けられるように、それぞれを直線で結ぶ関係図を用意する。
	1	○単元のまとめテストを行い、学習内容を振り返る。	
			評価項目<評価方法(観点)>
			◇スーパーマーケットに関わる疑問点や調べたいことを記述している。 <学習シート②>
			◇スーパーマーケットの販売の工夫を予想し、記述している。 <学習シート③>
			◇消費者は、安さや安全性、品揃えの豊富さなどを求めていることを記述している。 <学習シート①>
			◇観点に沿って、売り上げを高めるための工夫を記述している。 <学習プリント①>
			◇値段や商品のよさを表示したり、品質のよい商品を並べたりして、消費者の信頼を獲得していることを記述している。 <学習シート①>
			◇多様な地域から仕入れ、旬の物を揃えたり、品数を豊富にしたりしていることを記述している。 <学習シート①>
			◇スーパーでは消費者の願いを叶える工夫をすることで集客数を増やし、売り上げを高めていることを記述している。 <学習シート②>

**【備考】**

- ・ 1週間の食料品の買い物調べ（主として買い物をした場所）をすることを投げかける際には、事前に学年通信等で家庭に協力を呼びかける必要がある。
- ・ 家の人の買い方の工夫についても調べ、消費者のニーズと販売者の工夫とを関連付けられるようにする。
- ・ 仕入れ先や品物の生産地について取り上げ、他地域との関わりについて理解できるようにする。その際、国内だけでなく外国との関わりについても扱う。
- ・ 見学の予約は夏休み前に行っておくとよい。



大単元	Ⅲ 安全な暮らしを守る仕事	11・12・1月(16時間)
目標	人々の安全を守るための施設や人々の働きを理解し、自分の生活との関わりに関心をもつ。	

単元	Ⅲ-1 火さいから守る	11・12月(9時間)		
目標	火災から地域の安全を守る働きについて、消防署や地域を見学したり、資料で調べたりして関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、相互の関連や従事する人々の働きを考え表現することを通して、消防署や地域の人々は地域の安全を守るために相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、協力して防火に努めていることを理解する。			
評価規準	<p>(①知・技) 消防署や地域の人々は地域の安全を守るために相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、協力して防火に努めていることを理解する。 火災から地域の安全を守る働きについて、現場学習で調査したり、資料を活用して必要な情報を集めたりして、調べたことをまとめている。</p> <p>(②思・判・表) 火災から地域の安全を守る働きについて、学習問題を見いだしたり、連携・協力している関係機関の働きを結び付けて関係機関相互の関連を考えたり、消防署や地域の取組と地域の人々の生活とを関連付けて考えたりして、関係図にまとめたことを表現している。</p> <p>(③主体的態度) 火災から地域の安全を守る働きに関心を持ち、予想や学習計画を考え、主体的に調査したり、市民の一員として防火活動に協力しようとしていたりしている。</p>			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>
つかむ	1	○火災に関わる資料から学習問題をつかむ。 学習問題例 早く消火したり、人を助けたりするために、だれが、どのようなことをしているのだろう	○火災への対処について問題意識をもてるように、附属小が火災にあった場合の消防車の到着時間や台数、必要な水量などの資料を用意する。	◇火災からくらしを守るための取組について疑問や調べたいことを記述している。 <学習シート②>
	1	○学習問題について予想し、調べる計画を立てる。 <調べる観点> ・消防署の人々の取組 ・地域の取組や消防設備	○学習問題について予想や調べると分かることを考えられるように、学習計画表の枠と消防署や消防設備に関する資料を用意する。	◇予想や調べると分かることについて記述している。 <学習シート③>
追究する	2	○前橋市消防局の現場学習をし、施設や設備、消防士の取組を観察したり、聞き取り調査をしたりする。 (現場学習)	○消防署における取組を出動する際の順序に沿って具体的に調べられるように、消防士の働きを施設や設備ごとに具体的に記録できる学習プリントを用意する。	◇消防署における人々の取組について聞き取った内容を、学習プリントに記入している。 <学習プリント①>
	1	○消防署の人々の取組について調べたことを話し合って整理する。	○消防署の人々の取組を比較して共通点を見いだせるように、消防署の人々の取組を場所ごとに整理できる学習シートを用意する。	◇消防署の人々が様々な準備をしたり、関係機関と連携したりしていることを記述している。 <学習シート①>
	1	○学校の周りの消防設備の分布を調べる。	○学校の周りの消防設備の位置を記入できるように、学校を中心とした地域の白地図を用意する。	◇学校の周りの消防設備の位置を、種類ごとに分けて記入している。 <学習シート①>
	1	○消防設備の分布について話し合う。	○消防団や消防設備の必要性を消防署との位置関係を基に考えられるように、前橋市の消防署や消防団の分布図を用意する。	◇火災からくらしを守るためには、地域の消防設備と消防団などの地域の人々の活動が欠かせないことを記述している。 <学習シート①>
まとめ生かす	1	○学習問題の答えを出す。	○火災から地域の安全を守る働きについて消防署や地域の取組と地域の人々の生活とを関連付けて考えられるように、消防署と地域、住人の関係を整理する図を用意する。	◇諸機関が連携・協力して対処することで、いつでもどんな場所の火災からもくらしが守られていることを記述している。 <学習シート①>
	1	○単元のまとめテストを行い、学習内容を振り返る。		

**【備考】**

- ・学習問題を設定する前に安全を守る仕事について知っていることを話し合ったり、図や文で説明したりする活動を行うとよい。
- ・学校の周りの消防設備を探すときは、県立図書館→消防団倉庫→保育園→どんぐり公園→みずき中学校→学校の東側道路 で進むとよい。その際、学校のプールが防火水槽であることを説明する。また、非常勤駐車場にある銀色の水槽を見学し、水の量を実感的に捉えられるようにするとよい。

単元	Ⅲ-2 事こや事けんをふせぐ			1月(7時間)
目標	警察署などの関係機関の働きとそこに従事する人々や地域の人々の工夫や努力を考え、それらが組織的・協力的に進められ、人々の安全な生活の維持と向上に役立っていることを理解する。			
評価規準	(①知・技) 警察署などの関係機関が地域の人々と協力して事故や事件の防止に努めていることや、安全に対する一人一人の意識を高めることにより、市民の安全な生活が維持・向上されることを理解している。 警察署の施設や設備などを観点に沿って調査したり、資料を活用して必要な情報を集めたりして、調べたことをまとめている。 (②思・判・表) 安全を守る仕事について、学習問題を見いだしたり、関係機関相互の関連や従事する人々の働きを考えたりして、表現している。 (③主体的態度) 事故や事件から人々の安全を守る工夫や努力に関心をもち、予想や学習計画を考えたり、市民の一員として安全な生活をつくることに協力しようとしていたりしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>
つかむ	1	○これまでの生活経験、事故や事件の資料などから疑問点や調べたいことを考え、問題意識をもつ。 学習問題例 事故や事件が起こらないようにするために、誰がどのようなことをしているのだろう	○自分たちの安全な生活と事故や事件との関わりについて疑問点や調べたいことが考えられるように、交通事故や事件の処理の様子を示す資料を提示する。	◇自分たちの安全な生活と事故や事件との関わりについて疑問点や調べたいことを記述している。 <学習シート②>
	1	○警察署などの関係機関の働きとそこに従事する人々や地域の人々の取組について予想し、調べる計画を立てる。 <調べる観点>・警察の施設や活動 ・地域の安全施設や事故防止の活動	○追究の見通しがもてるように、警察の通信指令室の様子や地域の交番の数、交通指導員やPTA活動の写真、子ども110番の家や交通標識の資料を提示する。	◇生活の安全を守るための関係機関の働きとそこに従事する人々や地域の人々の取組などについて予想したことを記述している。 <学習シート③>
追究する	1	○警察の取組を調べ、整理する。(聞き取り調査)	○警察の取組について具体的に調べることができるよう、警察が発行するパンフレットを用意する。	◇警察の人々は、事故や事件を予想して行動することで事故や事件が起こらないようにしていることを記述している。 <学習シート①>
	1	○地域の人々の取組を調べ、整理する。	○地域の取組について具体的に調べられるように若宮地区の防犯マップや交通指導員に関する資料を用意する。	◇地域の人々は地域の安全を守るために警察と協力して防犯活動を行っていることを記述している。 <学習シート①>
まとめる・生かす	1	○学習問題の答えを出す。	○警察の人々の働きと地域の人々の働きの共通点を見いだすことができるように、それぞれの働きを整理する関係図を用意する。	◇警察が中心となり、地域の人々と協力することで事故や事件を防止していることを記述している。 <学習シート②>
	1	○群馬県の子どもの交通事故の現状を知り、新たな問題意識をもち、問題に対する自分の立場を決める。 学習問題例 事こや事けんに関わらないために自分にはどのようなことができるのだろう。	○交通事故の発生に対する問題意識をもつことができるように、過年度の群馬県の子どもの交通事故の発生件数の資料を用意する。	◇事故や事件にあわないために自分にできることを既習事項や生活経験を基に記述している。 <学習シート②>
	1	○単元のまとめテストを行う。		
<b>【備考】</b> ・現場学習を行う際は、H31年度起案を参照する。				

単元	IV 変わってきた前橋市と人々の暮らし			2・3月(11時間)
目標	前橋市の移り変わりについて、学習問題を意欲的に追究し、交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具の時期による違いに着目して、聞き取り調査をしたり地図などの資料を活用したりして調べ、年表などにまとめ、市や人々の様子は時間の経過に伴い移り変わってきたことを理解する。			
評価規準	<p>(①知・技) 駅や道路などの交通が整備されてきたこと、公共施設が建設されてきたこと、土地利用や人口、生活の道具が変化してきたことなどを基に、市や人々の生活の様子は時間の経過に伴って移り変わってきたことを理解している。 市の様子の移り変わりについて聞き取り調査をしたり、地図などの資料で調べたりして、年表にまとめている。</p> <p>(②思・判・表) 市の様子の移り変わりについて、学習問題を見いだしたり、時期ごとに比較・関連付けて変化の傾向や人々の生活への影響を考え、説明している。</p> <p>(③主体的態度) 市や人々の生活の変化について関心をもち、予想や学習計画を考え、意欲的に追究しようとしている。</p>			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>
つかむ	1	○昔の学校や60年前、40年前、現在の前橋駅前の写真を基に違いを比べ、知っていることや疑問を話し合う。	○市の昔の様子について疑問点や調べたいことを考えられるように、60年前、40年前、現在の前橋駅前や附属小の写真を提示する。	◇市の昔の様子について疑問点や調べたいことを記述している。  <学習シート②>
	1	○地域のお年寄りに話を聞いたり、60年前、40年前、現在の学校周辺の航空写真を見たり、して、市全体の移り変わりについて問題意識をもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">学習問題例 わたしたちの市や人々の暮らしの様子は、どのようにうつりかわってきたのだろう</div>	○地域のお年寄りへの聞き取り調査をすることができるように、市の昔の様子について疑問点や調べたいことを基にインタビューをする場を設定する。  ○市全体の移り変わりについて問題意識をもつことができるように、60年前、40年前、現在の学校周辺の航空写真を提示する。	◇地域のお年寄りへに自分の疑問を質問したり、聞き取ったことを適切にメモしたりしている。  <学習シート①>  ◇駅前以外の昔の市の様子や市全体の移り変わりについて疑問や調べたいことを基に問題意識をもっている。  <学習シート②>
	1	○学習問題について予想や調べる方法を考え、学習計画を立てる。 <調べる観点> ・人口 ・交通 ・土地利用 ・公共施設 ・生活の道具	○学習問題について追究する見通しをもてるように、現在の前橋市の地図を基に60年前、40年前の様子を予想し、グループの学習計画をまとめる学習計画表を用意する。	◇観点ごとに予想や調べる方法を考え、それらの資料から分かることを記述している。  <学習シート③>
追究する	1	○市の人口の増え方を読み取り、人口が増えたきっかけを話し合う。	○市の人口増加のきっかけを、調べたことや市内の主な出来事と関連付けて考えることができるように、市の人口推移グラフと3つの時期を中心とした市のできごとを年表で提示する。	◇市の人口が増えたきっかけについて、合併による市域の広がりや交通の整備や土地利用の変化と関連付けて記述している。  <学習シート②>
	1	○3つの時期の道路地図や通りの写真を見比べて、道路や橋が整備されてきた様子を調べ、年表にまとめる。	○地図で調べた交通が整備されてきた様子を年表にまとめることができるように、3つの時期ごとに整理する枠を示した年表を用意する。	◇交通が整備されてきた様子について、複数の具体例を示して記述している。  <学習シート①>
	1	○3つの時期の土地利用図を見比べて、土地利用が変化してきた様子を調べ、その理由を話し合う。	○時間の経過に伴い、土地利用が変化してきた理由について、交通の整備や移動手段や産業などの人々の生活の様子と関連付けて考えることができるように、調べた土地利用を短冊で視覚化して操作できる短冊を用意する。	◇土地利用が変化してきた様子について、交通の整備や移動手段、産業などの人々の生活の変化と関連付けて記述している。  <学習シート②>
	1	○3つの時期ごとに色分けした小学校の分布図を作成し、それぞれの時期ごとに建設されたを年表にまとめる。	○時間の経過に伴い、都市化した地域ごとに小学校の数が増えたことを理解できるように、3つの時期ごとに色分けした小学校の分布図と3つの時期の土地利用図を関連付けた分布を聞き合う場を設定する。	◇時間の経過に伴い、都市化した地域ごとに小学校の数が増えたことを記述している。  <学習シート①>

	2	○生活の道具の変化を具体物や聞き取り調査で調べ、家庭のくらしの変化を年表にまとめる。	○時間の経過に伴い、家庭のくらしが機械化・現代化したことに気付けるように、調べた3つの時期の生活の道具の様子を全体で板書に整理する。	◇生活の道具の変化とともに家庭のくらしの様子が変化したことについて記述している。 ＜学習シート①＞
ま と め か す	1	○これまでの学習を振り返って学習問題の答えをまとめ、市や人々の生活の様子の移り変わりを話し合う。	○前橋市が住宅地や工業団地の開発をきっかけに道路や公共施設を整備され、都市化が進み、人口が増え、人々の生活も大きく変化したことを理解できるように、3つの時期の地図やまとめた年表を概観して分かったことをまとめる時間を十分に確保する。	◇前橋市が住宅地や工業団地の開発をきっかけに道路や公共施設を整備され、都市化が進み、人口が増え、人々の生活も大きく変化したことを記述している。 ＜学習シート①＞
	1	○まとめのテストを行う		

【備考】

- ・ゲストティーチャーとしてお願いする地域のお年寄りをお願いする。3学年のフォルダに起案があるので参照する。
- ・時期の区分について元号による表し方を扱う。